

令和3年12月20日
関東運輸局

安全・安心なバス・タクシーをご利用ください！

～ニューノーマルに適應したバス・タクシーのご紹介～

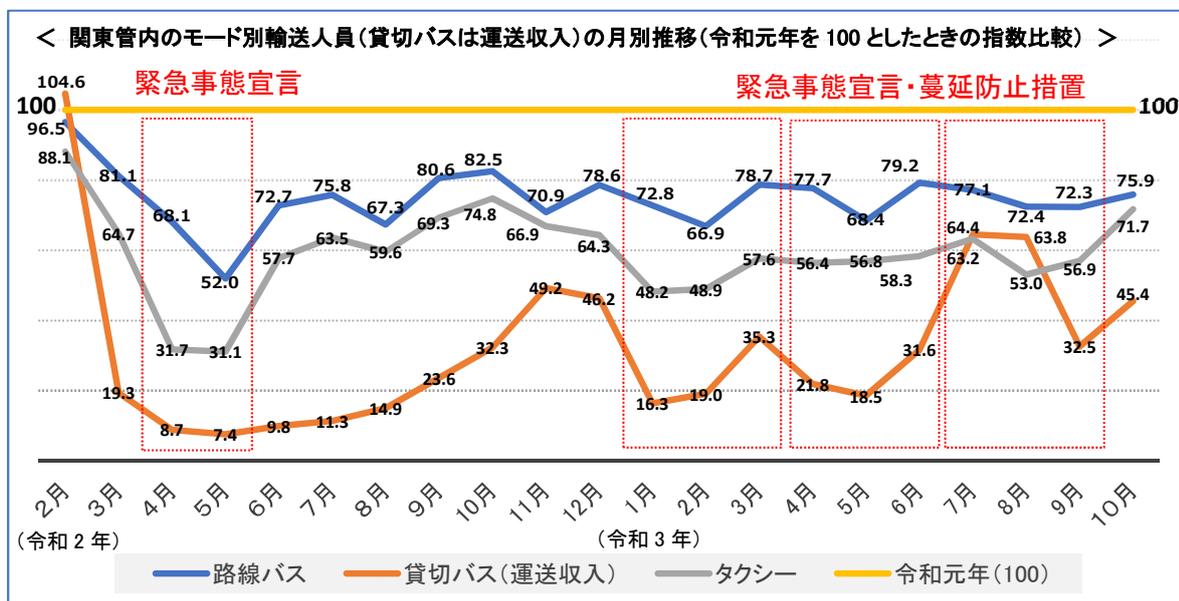
新型コロナウイルスにより、バス・タクシーは苦しい経営状況にありますが、そのような状況下においても、バス・タクシーは皆様が安心してご利用頂けるようニューノーマルへの対応を進めてまいりました。東京2020オリンピック・パラリンピックにおいても、感染症対策を施した多くのバス・タクシーが活用され、関係者・選手の輸送に貢献しました。

また、10月1日に緊急事態宣言等が全ての地域で解除され、11月19日からは観光需要喚起策として都県が実施する県内旅行割引事業(県民割)において、「ワクチン・検査パッケージ」の活用を前提として、支援の対象に隣県が追加されたところです。学校行事や地域交流行事における貸切バス、全国の都市間を結ぶ高速バス、そして地元での買物、通院などちょっとしたお出かけも含め、安心してバス・タクシーを利用しながら、日常生活に必要な地域のインフラを支えていきましょう。

1. バス・タクシーが直面する厳しい経営環境

バス・タクシーなどの自動車交通は、通勤・通学・レジャー時の移動、高齢者や身体の不自由な方の移動、更には、昨今頻発する大型台風等による災害輸送の移動手段として、国民生活や経済活動の根幹を支える大変重要な役割を果たしています。

しかし、折からのモータリゼーションの進展や人口減少等の影響で輸送人員が減少するなか、更に新型コロナウイルスが追い打ちとなり、現在、バス・タクシーは極めて厳しい経営環境に立たされています。



<主な特徴>

- ・ バス・タクシーは感染拡大に影響を受ける形で一進一退を繰り返し、未だに完全な回復は見通せていない。
- ・ 特に他モードと比較して下落幅の大きい貸切バスは、東京2020オリンピック・パラリンピック期間中に一時的な回復を見せるも、9月には再び下落。今後は、緊急事態宣言が終了した10月以降の回復に期待。

バス・タクシーは、いわゆるエッセンシャルサービスとして、新型コロナウイルス禍においても最低限の業務を継続し、社会の安定維持を支えてきたところですが、厳しい経営環境の中で、事業継続が困難となり、平年に比べて廃業を選択せざるを得ない事業者も大変多くなっており、今後、こうした傾向に一層拍車がかかることが懸念されます。

関東管内のバス・タクシー廃止状況：貸切バス145件、法人タクシー29件
(令和3年12月3日現在:いずれも令和2年2月以降の廃止件数の累計値)

2. バス・タクシーにおける感染予防対策

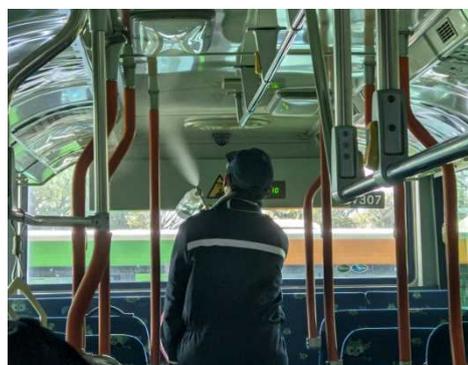
バス・タクシー業界では、それぞれ『新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン』を策定し、乗務員の検温・マスク着用・手指消毒など、基本的な感染予防対策を徹底しています。

また、バス・タクシー車両自体が有する高い換気性能に加え、コロナ時代に対応した『新たな移動空間』の追求を進めてきました(下記参照)。マスクの着用や会話機会の低減など利用者の皆様からのご協力も得ながら、感染予防の徹底、安全運行に万全を期しております。

■バス編



◇バス車内の消毒・清掃の様子
(出典:東急バス(株)HP)



◇バス車内に抗ウイルス剤散布
(提供:東京都交通局)



◇客席間に仕切版を設置
(出典:ニッコー観光バス(株)HP)

■タクシー編



◇タクシー車内の消毒の様子
(提供:(一社)群馬県タクシー協会)



◇タクシー車内でのオゾン散布作業の様子
(提供:(一社)群馬県タクシー協会)



◇空気清浄機を設置し、モニターにより清浄度を見える化
(提供:(一社)神奈川県タクシー協会)

<バス・タクシー車両の換気性能について>

- ・ 貸切バス及び路線バスは、約3分から5分で車内換気が可能です。

https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/top/data/covid19_info_shyanaikanki.pdf

<http://www.bus.or.jp/covid-19/>

- ・ (独)自動車技術総合機構交通安全環境研究所では、大型貸切バス車室内の空気流動を可視化する実験を行い、その優れた換気性能を確認済です。

<https://www.nts-el.go.jp/news/20200925.html>

- ・ 富岳による検証では、タクシー内のエアコンの「外気導入モード」で風量を通常レベル以上とすることで、窓を閉めていても1.5分程度で車内の空気を入れ替わることを確認済です。

<https://www.r-ccs.riken.jp/wp/wp-content/uploads/2021/01/20201126tsubokura.pdf>

※令和2年11月26日 理化学研究所 記者勉強会発表資料(P34 参照)

3. 東京2020オリンピック・パラリンピックにおける活躍

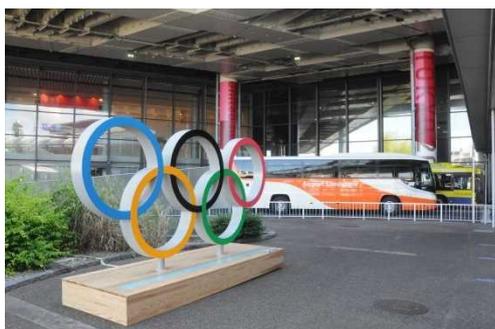
東京2020オリンピック・パラリンピックにおいては、感染症対策を実施した上で、関係者(選手、審判等)の輸送を実施しました。

貸切バスは1日当たり最大2,160両、東京2020パラリンピックにおいてはリフト付き車両260両、ノンステップ車両70両を含む、1日当たり最大920両が活用されました。

タクシーにおいては、32,859両が東京2020オリンピック・パラリンピック専用車両として届出され、1日平均1,000件活用されました。また、(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が用意した車両に、タクシードライバーがプロドライバーとして運転する「フリー輸送」も1日当たり約450両稼働しました。

感染症対策を実施した上での関係者輸送において、車中での感染事例は確認されませんでした。

■ 空港やバスターミナルから関係者を輸送



(提供: 東京空港交通(株))



(提供: (一社)東京ハイヤー・タクシー協会)

4. 利用者の皆様へ再度のお願い

- バス・タクシーなどの公共交通機関は、“あって当たり前”と思われがちですが、実はそうではありません。お客様にご利用いただくことで初めて成立するものです。
- 公共交通機関が直面する現下の窮状を打破するため、国や地方公共団体等も補助等の支援を実施していますが、厳しい財政事情の中、それには当然ながら限界があります。
- 移動すること自体は目的ではないかもしれませんが、移動することができなければ、その先にある目的を達成すること自体が困難になると言っても過言ではありません。
- 将来にわたって国民一人ひとりの生き生きとした社会生活を確保するためには、地域の貴重な公共交通機関をなくさぬよう、社会全体で支えていくことが大変重要です。
- 利用者の皆様には、マスクの着用など必要な感染予防対策を講じたうえで、ぜひお気軽に、『自分が利用することによって、公共交通機関が維持される』という意識をもって、バス・タクシーをご利用いただきますよう、お願い申し上げます。

【問い合わせ先】

関東運輸局

自動車交通部長 高橋

自動車交通部旅客第一課(バス) 勝家、武藤

TEL : 045-211-7245 FAX : 045-201-8802

自動車交通部旅客第二課(タクシー) 栗田、平田

TEL : 045-211-7246 FAX : 045-201-8802

【配布先】

横浜海事記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、都庁記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、群馬県政記者クラブ、千葉県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、山梨県政記者クラブ、茨城県政記者クラブ、関東運輸局記者会「ハイタク等専門紙」、物流専門紙

※ バス・タクシー事業者による感染予防対策等については、下記のリリースをご参照ください

【参考】関東運輸局における過去のプレスリリース

○令和2年9月29日付

『こういう時期だからこそ、ぜひお気軽にバス・タクシーをご利用下さい！

～コロナ禍における厳しい経営環境とバス・タクシーの維持に向けて～』

<https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/content/000172130.pdf>

○令和2年12月22日付

『バス・タクシーは引き続き厳しい経営環境に置かれています

～感染予防対策を講じて、コロナ時代に対応した『新たな移動空間』の兆しをご体感ください～』

<https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/content/000227261.pdf>

○令和3年3月30日付

『コロナ禍1年バス・タクシーは依然として長いトンネルの中にいます

～ワクチン接種時のバス・タクシーの活用を経営環境改善に向けた契機に～』

<https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/content/000234080.pdf>

○令和3年6月30日付

『日常生活に必要不可欠なバス・タクシーを皆さんで支えていきましょう

～ワクチン被接種者輸送に係る活躍事例から～』

<https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/content/000239997.pdf>